

学外研修報告

第 19 回若手 NMR 研究会参加報告

共通機器部門 共通利用機器管理班 柿村 順一

1. はじめに（目的等）

核磁気共鳴分光法（以後 NMR と略す）に関する最新の研究発表の聴講並びに情報交換を行い、今後の教育・研究支援のための知識・技術を向上させることを目的として参加した。

2. 期間・場所

期間：平成 30 年 8 月 4 日～8 月 6 日

場所：グリーンピアせとうち（広島県呉市安浦町）

3. 参加者等

大学、研究所、企業等にて NMR にかかわる研究者・学生・技術者 57 名

4. 研修内容

2 泊 3 日の合宿形式で行われた。

8 月 4 日～基礎講義：「フーリエ変換の直観的方法」、口頭発表 2 件、

8 月 5 日～協賛企業によるセミナー 3 件、口頭発表 10 件

8 月 6 日～口頭発表 2 件

ポスター発表 18 件とフリーディスカッションが 4 日、5 日両日行われた。

5. まとめと感想

7 月の豪雨災害の影響もあり一時は開催が危ぶまれたが、会場が早期に営業を再開したこともあり、プログラムの一部変更して開催された。

基礎講義ではフーリエ変換の直観的な理解のきっかけになるような内容を聴講でき、大変に有意義であった。またセミナーでは、メーカー製造担当者から見た器具の製作状況・特徴および取り扱い時の注意点、測定プログラムのパラメータ設定時の留意点などについての有益な情報を得ることができた。

先述の通り合宿形式で行われたため、多くの参加者とじっくりと話す時間も容易に確保することができ、各演題の研究発表内容のみではなく、研究者・学生と技術職員との関係についても様々な参加者と意見を交換することができ、今後の業務を進めていく上で非常に示唆に富んだものとなった。